

◆ 令和元年度 鳴門市 各部長実行宣言 ◆

( 企 業 局 )

企業局長	企業局次長
山内 秀治	三居 康伸

部長コメント（基本姿勢、基本目標など）… キャッチフレーズは「健全経営の継続と市民サービスの維持・向上」

企業局は、普及率99.9%の上水道を安定的に提供するための「水道事業」と公営競技として市財政にこれまで920億円を超える繰出しを行ってきた「ボートレース事業」を所管しています。今後も健全経営の確保を図るとともに市民サービスの維持・向上に努めてまいります。

本年度については特に以下の項目について各事業に取り組みます。

(水道事業) 市民生活、都市活動に欠かすことのできないライフラインの持続的運営に向け、水道事業ビジョンに掲げる各種施策を推進するとともに、市民サービスを維持するための施設(浄水場及び送配水施設)の耐震化及び耐震化率向上に取り組みます。

(ボートレース事業) 収益確保による経営安定化のため、全国的に売上占有率が高まっている電話投票売上確保に向けたモーニングレース等の着実な実施と外向発売所指定席棟の増築、ビッグレース時のイベント開催や地域のにぎわい創出のためのイベントホール整備に取り組みます。



No	重点項目	現状と課題	目標(何を、どうする)	目標達成に向けた取組工程
1	水道事業ビジョンと水道施設の耐震化の推進	<p>□現状 水道事業を持続可能なものとするため、中長期の収支見通しを踏まえた経営戦略、今後の需要に応じた水道施設計画の見直しなど、経営環境の変化に応じた事業運営が求められている。その一環としてH31.4月から水道料金等の増額改定を行った。</p> <p>■課題 安定的に水道を供給するため、経営健全化に向けて各種取組を着実に進めるとともに、将来の水需要に対応した計画的な水道施設の老朽対策と耐震化を進める必要がある。</p>	<p>① 水道事業ビジョンや経営戦略に掲げる施策等を着実に進め、経営の健全化に努める</p> <p>② 送配水施設耐震化計画(H30年3月策定)に基づき、水道管路等の更新・耐震化を行う</p>	<p>① 水道事業ビジョンや経営戦略に掲げる各種施策を着実に推進する</p> <p>② 年間を通じ工事が実施できるよう早期の実施設計及び工事発注を行い、水道管路等の耐震化を計画的かつ効率的に実施する</p> <p>③ 国交付金を積極的に活用するとともに、工期短縮と事業費縮減等に向けてDB方式による送水管整備を行う</p>
2	共同化による浄水場更新事業の推進	<p>□現状 整備後40年以上経過した浄水場を北島町と共同で更新するため、鳴門市・北島町浄水場共同化協議会を設置し、第5回協議会では概算事業費、事業方式、概略工程などをまとめた基本計画案を示した。</p> <p>■課題 複数年に渡る事業のため、事業費も大きく、工程も複雑になるため、逐次、全体工程等を管理する必要がある。 共同浄水場整備に国交付金を活用するためには、水道事業の広域化(他町との経営統合等)が必要となる。</p>	<p>① 北島町と、事業についての連携を密にし、浄水場更新事業を進める</p> <p>② 民間活力及び技術力を最大限に生かし、施設の早期建設を目指す</p> <p>③ 国交付金を活用できるよう、近隣市町との広域化に関する検討を行う</p>	<p>① 基本計画案のパブリックコメントを行い、基本計画を策定する</p> <p>② 業者選定に関する委員会を設立し、DB方式での業者選定に着手する</p> <p>③ 許認可申請及び水利権更新申請に必要な業務を実施する</p> <p>④ 昨年2月に設立した「旧吉野川流域市町の水道事業に関する勉強会」構成町を基本として、近隣市町と水道事業の広域化に関する具体的な検討を行う</p>

企業局長	企業局次長
山内 秀治	三居 康伸

No	重点項目	現状と課題	目標(何を、どうする)	目標達成に向けた取組工程
3	モーニングレース及びレディースオールスター競走等の着実な実施と健全経営の確保	<p>□現状 前年度は上半期にサマータイムレースを、下半期にモーニングレースを実施し、一般レース1日平均売上が対前年度比1.5倍となった。今年度も引き続きサマータイムレースとモーニングレースを実施するとともに、3月3日～8日にGⅡレディースオールスター競走を開催する。</p> <p>■課題 消費増税や景気動向などボートレースを取り巻く環境は不確定要素が多く、ボートレース鳴門経営戦略アクションプランに基づいた健全経営を継続するためには、引き続き開催時間や効率的な運営の検討を行い、売上と利益確保に向けた施策を行う必要がある。</p>	<p>① サマータイムレース及びモーニングレースを着実に実施する</p> <p>② GⅡレディースオールスター競走を円滑に開催する</p> <p>③ 効率的な運営と売上向上施策により継続的に利益を確保する</p> <p>④ 将来的なモーニングレース開催日数拡大に向けて環境を整える</p>	<p>① 曇天時にも円滑に開催できるようサマータイム用照明を設置する等、事故等の未然防止に努める</p> <p>② GⅡレディースオールスター競走の開催における適切な開催計画とイベント、ファンサービスの実施等、多くの来場者を受け入れるための準備を整える</p> <p>③ 女性や初心者向けイベントの開催や電話投票キャンペーンリニューアル、キャッシュレス会員ランク制導入等を実施し、新規ファン開拓とファン離れを抑制する</p> <p>④ HPの内容を充実させるとともにTwitterやFacebook等のSNSを活用するなど広報等を強化する</p> <p>⑤ 場外発売売上確保のため他場への営業活動を行う</p> <p>⑥ 将来的なモーニングレース開催日数拡大に向けた関係機関との調整を行う</p>
4	イベントホール新設事業について	<p>□現状 多くのボートレースファンが来場するSGレース等のビッグレース開催時には、既設イベントホール等では手狭であることから、芝生広場に仮設テントを設置し対応している。</p> <p>■課題 開催実績ができたことやビッグレース増加により、鳴門でビッグレースを行う回数が増えているが、仮設施設でも多額な経費や数ヶ月の工事期間が必要となり、施設管理やお客様利用に支障が生じている。ビッグレースでの利用は限られるため普段は地域開放型施設として活用するが、内容や方針を検討する必要がある。なお、3月のレディースオールスター競走までの短期間の整備が必要である。</p>	<p>① 令和2年3月に開催する「GⅡレディースオールスター競走」までに建築し、選手紹介式等ファンサービスに活用する</p> <p>② イベントホールを地域開放型施設としても活用するために必要な検討と施設整備を行う</p>	<p>① 工期短縮等のため建築は設計・施工一括方式で行い、プロポーザルを実施、請負業者を決定後、令和2年2月末までに完成させる</p> <p>② イベントホール活用に関する運用の検討を行うとともに、地域開放型施設として必要な施設内容を決定する</p>

◆ 令和元年度 鳴門市 各部長実行宣言 ◆

( 企 業 局 )

企業局長	企業局次長
山内 秀治	三居 康伸

No	重点項目	現状と課題	目標(何を、どうする)	目標達成に向けた取組工程
5	エディウィン鳴門指定席棟増築事業について	<p>□現状 エディウィン鳴門の指定席は現在35席あり、1ヶ月あたりの稼働率は概ね100%を超えている。指定席利用者は多い一方で、外向発売所全体の売上は年々微減している。</p> <p>■課題 エディウィン鳴門の指定席における舟券購入に係る客単価は高いが、SGレース等発売時には入りきれない状況である。平素もコンスタントに来客があるが手狭であり、一層魅力ある施設・設備の充実が必要である。</p>	<p>① 現有施設東側に指定席棟を建設し、席数拡大を図るとともに魅力ある快適な売場を提供する</p> <p>② ファンにこれまで以上に指定席を利用していただけるよう、サービス等の充実を検討する</p>	<p>① 建築部材等の市場動向を注視し、早期に工事発注を行い年度内を目処に完成させる</p> <p>② 他の外向発売所等を参考にするなど、指定席料金の設定やサービス内容の検討を行う</p>